

平成 24 年度牧之原市夜間津波避難訓練について

1 目的

東日本大震災では、各地に襲来した大津波で甚大な被害が生じたことから、日ごろから住民や関係機関が津波の脅威を十分に理解し、津波に対する備えを強化するとともに、迅速に避難することの重要性が改めて認識された。

静岡県では3月6日から15日までを津波対策推進旬間と定め、津波災害に対する県民意識の更なる高揚を図ることとしている。

本市では、この旬間の一環として、また、地震津波災害は何時起こるかわからないことを考慮して、夜間における津波避難訓練を実施する。

実践的な訓練によって、市民の津波災害に対する意識の高揚を図り、避難場所の再確認、夜間における避難経路・所要時間の確認を行うとともに、避難行動時における安全性の確保を図る。（夜間における危険箇所の確認、懐中電灯等の非常持出品の確認等）

※統一スローガン

「地震だ、津波だ、すぐ避難！」 ～ 少しでも早く、少しでも高く ～

2 訓練想定

駿河トラフから南海トラフを震源域とする大規模な地震が突然発生し、県内が震度6弱から7の揺れとなり、地震発生直後に、津波第1波、続いて数回にわたり津波が襲来することを想定して、訓練を実施する。

3 日時、対象区域

(1) 実施日 平成 25 年 3 月 7 日（木） 午後 6 時 30 分から午後 8 時 00 分まで

(2) 対 象 細江、川崎、片浜、相良、地頭方各小学校区域

（南海トラフ巨大地震による想定津波浸水域を含む区域を対象に実施）

4 訓練内容

- ・午後 6 時 30 分 事前広報（同報無線）
- ・午後 7 時 00 分
- ～午後 7 時 30 分 地震発生（サイレン 1 分間吹鳴）＜訓練開始＞
大津波警報発令（同報無線・緊急速報メール）「避難訓練」
 - ・迅速な避難、避難場所・避難経路等の確認
 - ・夜間における危険箇所や非常持出品の確認
- ・午後 7 時 40 分 自主防本部設置状況報告「情報伝達訓練」
- ・午後 7 時 50 分 訓練完了報告による避難者人員報告「情報伝達訓練」
- ・午後 8 時 00 分頃 訓練終了